



耐震工事を行った蒲郡中学校体育館

**答** 以前に各課の担当者で勉強会を行い、食育に関する施策や行事等を取りまとめたが、計画の策定までは至っていない。今後は関係各課と連絡を取りながら、早期策定に向けて努力していきたい。

**学校施設の耐震化について**

**問** 市内小中学校施設の耐震化の現況と今後の耐震化工事計画について伺う。

**答** 体育館についてはすべて完了している。校舎は4月1日現在で、耐震化率61・9%。なお耐震診断

**問** 避難所として利用される学校内に溝を掘っておき、災害時にトイレとして利用できる「自然還元排水溝」を以前提案した。その

**避難所(学校施設)におけるトイレ対策**

**答** 4月から5月に4件あったが、いじめには至っていない。これらに対してはサイトを閉鎖し、関係者や個人を指導した。

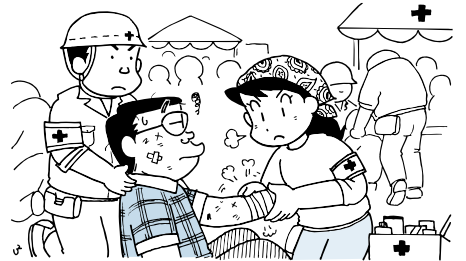
**インターネット上の裏サイトやいじめは**

**伊藤勝美(公明党)**

は全校舎完了している。今後の計画としては、平成24年度までの5年間で全校舎の耐震化工事を完了していく。概算工事費としては21億円と予測している。

**問** 学校裏サイトの掲示板等で、個人を誹謗中傷するような陰湿ないじめが全国的に蔓延している。本市の状況について伺う。

**答** 誹謗中傷による人間関係のトラブルの報告が



の後の取り組み状況を伺う。

**答** 災害時における究極の対策であると考えますが、敷地の問題もあるため、実施可能な学校を探し、モデル校として一度実施したい。

**伴 捷文(市政クラブ)**

**新消防庁舎建設後の救急車の配備は**

**問** 新消防庁舎は今より2km東になり、西地区の救急体制が手薄になると考

**答** 消防署の出動計画を見直し、管轄エリア、東部出張所の縮小、西部出張所の増員等を検討している。

しかし、西部出張所に救急車を2台配置することは、市外への転院搬送が増加している今の状況では難しい。

**名鉄・西尾蒲郡線について**

**問** 収益の悪化により廃線の恐れがあるとの報道がされた。路線の存続についての市の対策を伺う。

**答** 名鉄へ地域公共交通としてのあり方に対する責任を求め、広報を通じた利用促進、近隣市町と連携したイベントを行う等、沿線市町と名鉄とで方向性や具体策を協議していきたい。



名鉄電車

**柴田安彦(日本共産党)**

**市民病院の改革プランは**

**問** 県の地域保健医療計画は、医師確保についてあいまいな文章での指針となっている。具体的な数値目標を持った計画に変えさせるべきではないか。

**答** 公立病院問題に関しての計画会議が作られるので逐一要求していきたい。財政支出を減らすことを目指す政府の公立病院改革ガイドラインは、病院の再編・縮小・廃止を推進し、医療崩壊を加速させる。本市の病院改革プランは、公立の二次医療病院としての維持、充実を図るという立場で策定すべきではないか。

**答** ガイドラインはあくまでガイドラインと認識している。最初から夢のようなプランを作るつもりは毛頭ない。しかし、再編もしくはネットワーキ化という点では近隣の病院との連携は必要であると考えている。